

協力して梅の実を収穫する生徒ら

日置市東市来の上市来中学校



みんなで協力最後の梅収穫

日置・上市来中

日置市東市来の上市来中学校の1～3年生20人と教師らが9日、校内になった梅の実を収穫した。同校は来春の閉校が決まっており、最後の作業となった。

教師や背の高い生徒が枝を引っ張り、全員が実をちぎりやすいよう協力。手が届かない枝は、実に傷が付かないようシートを広げ、棒でたたいて落とした。

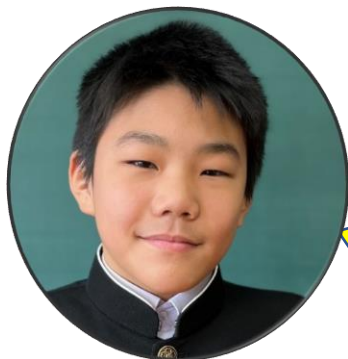
梅の木十数本から85㎏が採れた。1㎏ずつ袋詰めにして全生徒の写真を印刷したラベルを貼り、市内の物産館「チェスト館」に出荷した。1袋324円で販売し、売却益は生徒会活動に使う。

2年今吉絆生(きずな)さんは「みんなで協力し楽しかった。多くの人に買ってもらい、おいしく食べてほしい」と話した。

(重島修一)

上市来中で最後の梅収穫

13



2年 今吉 絆生さん
みんなで協力し楽しかった。
多くの人に買ってもらい、
おいしく食べて欲しい♪